

2019 年度実施概要

教育委員会名

大牟田市教育委員会

採択活動名

有明海や三池港を生かした大牟田海洋教育プロジェクト

取り組みの概要

- 1 推進協議会等の実施状況
 - 年間計画に基づき、年間10回の推進協議会及びワーキンググループ会議を行った。
- 2 特例校の申請状況（申請内容・校数・結果）
 - 申請内容：小学校3年生～6年生において、総合的な学習の時間の一部に替えて、新たな領域「海の時間」を新設する。「海の時間」においては、地域にある「有明海」や世界文化遺産「三池港」での体験活動や調査活動等を通して、「海に親しむ」「海を知る」「海を守る」「海を利用する」視点から、海と人との共生のためにはどうすれば良いかということについて探求的な学習を行う。
 - 申請校数：2校（大牟田市立みなと小学校、大牟田市立天領小学校）
 - 申請結果：認可
- 3 公開研究会・授業研究会・教員研修会・発表会等の実施状況
 - 「海洋教育推進モデル校学習交流会」（令和元年7月16日）
 - ・市内の推進モデル校である3小学校の6年生が集い、各校の現在の取組や2学期からの取組について伝え合い、情報交流をするとともに、お互いの交流を深める。
 - 「天領小学校公開授業公開」（令和元年11月16日）
 - ・天領小学校の土曜授業参観により、保護者や地域に対して海洋教育に関する授業を公開する。
 - ・教育委員会の事業の一環として、市外の教職員に授業公開をする。
 - 「『三池港』見学・クルーズ」（令和元年11月18日）
 - ・推進モデル校合同による「三池港」の見学と港内クルージングを行い、「海を利用する」視点から三池港の歴史や働きについて学習する。
 - 「海洋教育推進モデル校合同職員研修会」（令和元年12月24日）
 - ・来年度の海洋教育推進に向けて推進モデル校の職員が一堂に会し、海洋教育で育成する資質・能力について共通理解するとともに、来年度のカリキュラム編成について各学年での協議を行う。
 - 「海洋教育こどもサミット2020inおおむた」（令和2年1月17日）
 - ・九州・沖縄地区の海洋教育推進校8校によるポスターセッションやパネルディスカッション等を通して、海洋教育の学習成果を交流するとともに、海と人との共生についての理解・考え方を深める。
- 4 外部機関との連携
 - 「九州・沖縄海洋教育連絡協議会」（令和元年7月2日）
 - ・九州・沖縄における「海洋教育パイオニアスクール」各校の学校間交流を通して、今後の各地域における海洋教育の充実を図る。（九州・沖縄地区小学校・義務教育学校10校の参加）
 - 海洋教育の3校合同実践取組におけるゲストティーチャーとしての連携
 - ・「有明海干潟観察会」：世界文化遺産『三池港』と有明海を学ぶ会
 - ・「『三池港』見学・クルーズ」：国土交通省九州地方整備局博多港湾・空港整備事務所
- 5 地域・保護者を対象とした報告会等の実施状況
 - 推進モデル校の合同学習会・発表会への参加依頼
 - ・「海洋教育推進モデル校学習交流会」：地域・保護者から約20名の参加
 - ・「海洋教育こどもサミット2020inおおむた」：地域・保護者から約40名の参加
 - 各推進モデル校の学習発表会における海洋教育の取組の発表
- 6 その他教育委員会としての取り組み
 - 本市教育委員会主催の「ユネスコスクール・ESD全国実践交流会 in 大牟田」（令和元年8月22日開催）第2分科会「SDGs14・15とESD」を設定し、海洋教育の実践について発表・協議する場を設けた。
 - 第7回「全国海洋教育サミット」に参加し、推進モデル校児童が市内の取組を全国に発信する。

活動参加校名 ※参加した学校の数に応じて記載してください

1. 大牟田市立みなと小学校
2. 大牟田市立天領小学校
3. 大牟田市立天の原小学校